

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプスエリアにおけるインバウンド向けサイクリングツアーの構築事業
事業主体 (連絡先)	日本アルプス観光連盟 (事務局 電話 0263-34-8307)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,165,784 円 (うち支援金 : 2,924,000 円)

事業内容

北アルプスエリアの魅力幅広く発信することを目的とした3事業を行いました。

- (1) 北アルプスサイクリングツアー桜ステージ 9名
 - ・4月29日実施
 - ・安曇野市、国営アルプスあづみの公園、大町市、白馬村、小谷村
- (2) 北アルプスサイクリングツアー紅葉ステージ 29名
 - ・10月21日実施
 - ・松本市、塩尻市、山形村、朝日村、安曇野市、国営アルプスあづみの公園
- (3) 参加者内訳 (8割が県外・全員が1泊~2泊)
- (4) ホームページの多言語化 (日本語・英語・繁体語)



【紅葉ステージ スタート前】

【目標・ねらい】

- ①新たな魅力の発信
- ②ブランド化の推進
- ③観光の質の向上
- ④観光客の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 参加者のうち8割が県外からの参加者が占めており、また1泊から2泊を伴う参加であったことがアンケートから判明。北アルプスエリアへの滞在が達成できた。
- 2 ホームページを多言語化することでインバウンド向けに情報を発信することができた。

※自己評価 【C】

【理由】

当初予定していた、台湾からのFAMトリップが実現できなかったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2019年度は、平日1泊するサイクリングツアーを実施し、平日の宿泊者不足の解消の一途になるよう取り組みたい。また、ホームページの多言語化が可能となったことから、FDAを活用した台湾からのFAMトリップを実施し、魅力を発信したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある